

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		河川管理事業				②事業番号		6302	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
								年度 ○ 設定なし	
⑥根拠法令等		○ 法令 ○ 条例 ○ 規則		要綱		計画等		その他	
								法令等の名称	
								泉南市準用河川管理条例	
⑦実施手法		直営		全部委託 ○ 一部委託		補助・負担		その他	
⑧関連予算科目コード		款		7		項		3	
⑨担当部名		⑩担当課名						会計	
都市整備部		下水道課						一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 管理河川		① 河川数		本	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
要望等により、以下の業務を委託している。 ・河川内の草刈 ・河川の浚渫 ・河川施設の修繕 ・河川改修工事		① 要望回数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
河川機能を保持、改善し、良好な状態を保つ。		① 修繕件数		件	
		計算式			
		② 清掃件数		件	
		計算式			
		③ 工事件数		件	
		計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
防災や環境面に配慮した河川の維持改修をおこなうとともに、河川の管理を適切に行う。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします	
		施策中		1 河川・ため池の保全と活用	
		施策小		1 河川の整備	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		河川数	本	15	15	15	15	15	
対象指標②									
活動指標①		要望回数	回	5	6	9	10	10	
活動指標②									
活動指標③									—
成果指標①		修繕件数	件	2	1	4	5	5	
成果指標②		清掃件数	件	8	6	6	6	6	
成果指標③		工事件数	件	1	0	1	0	1	
事業費	投入人員	正職員	人	0.30	0.30	0.45	0.45		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	2,432	2,314	3,434	3,434		
		直接事業費	千円	3,321	1,099	4,932	1,730		
		総事業費	千円	5,753	3,413	8,366	5,164		
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		—
	府支出金		千円	31	30	28	30		
	受益者負担金		千円	0	0	0	0		
	その他特定財源		千円	409	21	21	20		
	一般財源		千円	5,313	3,362	8,317	5,114		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	管理河川についての整備、維持管理を行うことを目的として事業化している。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	改修工事から維持管理にシフトしていている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔1〕の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等						
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	泉南市で管理する河川及び管理内容は決まっており、適正に行っている。					

〔2〕有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔2〕の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。		ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	河川機能が保持され、良好な状態に保たれている。					
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)		ア. ある イ. ない	老朽化した河川構造物の計画的な改修を行うことによって、成果の向上が図られる。					
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。		ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—					

〔3〕効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔3〕の評価	B
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)		ア. ある イ. ない	委託内容の見直し等によりコスト削減の努力をしていく。					

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
	A	—	

A:現状のまま事業を進めることが適当
 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要)
 C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要)
 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 ↓ イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—